



2012.11.5

No.226

MONTHLY

れんごう

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発 行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ばくろうビル6F TEL(011)210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

発行責任者

出村 良平

連合北海道 第25回年次大会を開催

2013年度活動方針、春闘基本構想、国政選挙闘争方針など議題に

連合北海道は10月25日、昨年の定期大会で確認された運動方針を補強する2013年度活動方針や2013春季生活闘争基本構想、さらには直近の国政選挙の闘争方針などを議題とする第25回年次大会を開催した。

大会冒頭、7月に逝去された前釧根地協事務局長 門間俊二氏への黙祷を捧げた後、工藤会長が執行部を代表して挨拶を行った。

挨拶は、まず東日本大震災の復興・再生について触れ、今なお30万人以上が仮住まいであることから、決して風化されることなく被災地への支援を模索していくとした。

また、原子力発電所事故を契機に「原子力エネルギーに依存しない社会」づくりが、国や連合本部でも議論されており、連合北海道も「道民全体の目標となる『北海道エネルギー・ビジョン』を策定する道民円卓会議（仮称）の設置や『省エネ・新エネ条例』の抜本的修正を働き掛けるほか、地域の産業と雇用拡大に波及する地域分散型の新エネ・省エネの普及を目指していく」と、今後の取り組みに向けた決意を述べた。

次に、2013春季生活闘争について述べ、「社会の不安定化は許容範囲を大きく超えており、再び厚みのある中間層を取り戻すことが何より必要であるとともに、「日本再生戦略」の推進による雇用の創出と地域の活性化、「安心社会」を支える社会保障と税の一体改革の前進など、政策・制度実現の取り組み」を「運動の両輪」とし



て、すべての労働者を対象にした生活改善・格差是に向けての取り組みを強化しなければならない」とした。

最後に、衆参の選挙闘争では、「民主党を主軸とする候補者を推薦し、引き続き民主党政権の継続を目指す」「厳しい選挙が想定され、組織の力量・真価が問われる選挙となるが、力を結集して参議院比例代表組織内候補・推薦候補者を国政に送り出し、一層の政策実現を目指す」と、国政選挙における組合員の結集を訴えた。

大会では、「2013年度活動方針」、「2013春季生活闘争基本構想」、「第46回衆議院選挙・第23回参議院選挙闘争方針」について質疑・討論が行われ、賛成多数で提案通り可決された。

選挙闘争方針では、参議院選挙候補予定者として小川勝也参議院議員の推薦も決定し、小川参議へ推薦状を授与し、「3期18年の経験を活用し、重い責務を果たしていきます。そしてまずは、連合組織内推薦比例候補とともに完勝を目指して広い北海道を駆け巡って行きます」と決意表明が行われた。

その後、大会宣言、決議（第46回衆議院選挙・第23



回参議院選挙に勝利する特別決議)・アピール(人間らしい仕事と生活の実現に向けたアピール)を満場一致で確認され、最後に、工藤会長の音頭で働くことを軸とする安心社会の実現と衆参選挙勝利を誓う団結ガンバローで終了した。

尚、今大会では、役員の一部改選が行われ、第12期後半の役員体制も確立した。

大会での発言者・内容は以下のとおり。(発言順)

●UIゼンセン同盟 衛藤代議員(北朝鮮による拉致被害者家族支援について)

●自治労 杉谷代議員(看護職員署名の協力お礼、エネルギー政策関連)

●北教組 足利代議員(道教委の学力向上策等の問題点、エネルギー政策関連)

●JR総連 工藤代議員(社会保障と税の一体改革について、エネルギー政策関連)

●十勝地協 木下特別代議員(TPP問題、エネルギー政策関連、非正規労働者の組織化と中小パート問題)

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012102501_25taikai.html

最低賃金の『周知街宣行動』とチラシ配布 『なんでも労働相談』『経済団体等への要請』も実施

連合北海道は、改正となった2012年度北海道地域最低賃金719円(時間給)の発効日となる前日の10月17日、札幌駅前で市民向けに、地域最低賃金改正の周知街宣と、各産別の組合員の協力で、チラシ(3,000枚)配布行動を実施した。

また、10月18日・19日には、「最賃なんでも労働相談ダイヤル」を開設し、2日間で42件の相談(最賃関連の相談は29件)が寄せられた。

引き続き、10月22日・23日午前には、経済4団体(北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、北海道中小企業団体中央会、北海道商工会連合会)及び、関係業界7団体(北海道漁業協同組合連合会、日本人材派遣協会、北海道ビルメンテナンス協会、北海道建設業協会、北海道機械工業会、北海道商店街振興組合連合会、北海道食品産業協議会)へ「最低賃金の履行確保等を求



める要請行動」を実施した。

経済4団体への要請では、添田副会長(非正規労働対策委員会委員長)、佐藤副会長(最賃対策委員会委員長)より、「今回の改定額の影響率が極めて大きいことから、加盟企業における労働者はもちろん、未加盟企業の経営者への周知についても最大限の尽力を要請した。

これに対し、経済4団体からは、「引き上げに伴い大変大きい影響率であるが、法令遵守を基本として広報誌、会報、リーフレット等を利用して、各企業に最大限の履行確保に向けた周知を行っていく」旨の回答を得た。

午後から要請団は2班に分かれ、それぞれ関係業界7団体への要請行動を行った。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012102201_livingwage_action.html



小樽地区連合女性委員会「秋季学習会」を開催 男女平等参画への取り組みなどを学習

小樽地区連合女性委員会は、毎年、春と秋の年2回、小樽地区連合青年委員会と共に学習会を開催しており、10月23日に38名(主催者を含む)の参加者を集め、小

樽市教育会館で秋季学習会が開催された。

今回の学習会では、連合北海道女性委員会山田悦子委員長が「アーツグループ労働組合の取り組み」と題

して、民間労組としての労働組合のあり方や男女平等参画への取り組み等を講演した。

この中で、子どもが小学校3年生になるまで、時間を短縮して2時間・4時間・6時間等のパート勤務で働き、また正社員に戻れる制度や、女性の「非正規雇用労働者」が多いスーパー業界でも珍しい、パートさんが組合専従になっているという話がされ、新鮮な驚きが参加者に見られた。

この後、場所を移動して交流会が開催され、山田委員長を中心に、参加者は和やかな時間を過ごした。

民間労組の女性組合員が少ない小樽で、とても貴重な学習会になった。



〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012102301_otaru_women-study.html

渡島地協が“縁の下の力持ち”で活躍

障がい者と健常者の「ふれあいアート祭」開催!!

「障がい者・健常者が共に豊かな社会をめざして」をテーマに、『みんなでふれあうアート祭』が10月13日、函館市民会館において開催された。

この取り組みは、以前は「ふれあいコンサート」として、体に障がいを待つ人による音楽だけの取り組みであったが、10年を経過し、節目を迎えたことと、運動領域が思うように広がらず、出演者の家族中心になっている現状に悩みを抱え、継続の困難性がきわめて高いものとなっていた。

連合渡島地域協議会はその相談窓口を積極的に行い、さまざまな論議を積み重ねて、音楽だけの活動から幅広い文化全般を見据えた活動への発展的解消を提案してきた。

更には、その活動における中心的黒子役を地域労働者が積極的に担っていくことで確認しあい、各障がい者団体との意見交換を経て再スタートに向けた実行委員会が発足をした。

渡島地協は、実行委員会スタート直後から副会長を派遣し、成功に向けた具体的取り組みを行うとともに、組織的には諸会議での協力要請、ポスター・チラシ配布、教宣紙による周知の浸透等々を積極的に行うなど、成功へ向けた取り組みに力を傾注してきた。

当日は、前日までの雨も上がり、雲の合間から日差しが



差し込む天候に恵まれ、出足も順調。11時の開会式には150名ほどの参加者が見られた。

オープニングの出演は「和太鼓サークル・とことん座」。目が不自由でも太鼓をたたいてみたいとサークルができて8年のグループ。音を大事に一生懸命太鼓をたたく姿に感動すら覚えた。

民謡・江差追分や結成46年にもなる鼓笛隊、マジック、コーラス、ハープ演奏、よさこい等々舞台では次々と演舞が続く一方、別室では障がい者が作った絵画や切り絵、書道、裁縫、小物入れなどの展示即売会が開催されていた。

また、軽食・喫茶コーナーも開設され、手作りのクッキー・パン、珈琲・ジュース等が格安で提供される傍らでは、職人による「アートコーヒー」販売も行われ、物珍しさも手伝って行列もできるほど。

まだまだ、組合員や家族を含めて健常者の参加状況は多くはないが、徐々に積み重ねていくことと、連合運動としても新たなる分野における活動のあり方として追求していくことが必要と思われる。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012101301_oshima_artfestival.html



「函館公清労働組合」結成

函館に新たな組織が誕生、結成大会開催

全国・全道的にも「組織拡大」が重要なテーマとして掲げている私たちの運動で、新たなる組織が結成された。

10月5日18時より、函館市新川町・道南労働福祉会館において「函館公清労働組合」の結成大会が行われた。

「函館公清労働組合」は、組合員数8名と小さな組織ではあるが、同じ清掃関係労働組合を通じて賃金や労働条件の前進・改善に向けた悩みの相談を受け、従業員15名中半数以上を組織化して労働組合を立ち上げることで方向性を一致させ、この間、結成に向けた諸準備を積み重ねてきた。

会社に動きを察知されぬよう慎重にことが進められ、函館地区連合・労働相談員を中心に結成に向けた段取りの打合せや参加者の氏名確認等々が節々において行われ、前述のとおり10月5日、過半数を超える8名が参加して新たな労組の誕生を見ることとなった。

結成大会で挨拶に立った荒木・函館地区連合会長は、労働組合の必要性・重要性を訴えるとともに、地域で働く同じ仲間として、悩みや課題を共有化して解決に当たりたいと訴えた。

また、函館公清労働組合が加盟する地域ユニオン・中小労連の野田委員長も、地場中小で働く仲間として歓迎をするとともに、今後はさまざまな課題・問題について積極的に論議を交わしあい、前進を図りたいとエールを送った。



結成大会は、組合規約を確認し合うとともに、向こう1年間の活動方針の論議を行い、

①従業員の加入拡大へ向けた取り組みの早期化

②健全労使関係の確立へ向けた取り組みの強化

③雇用・労働条件の改善へ向けた要求書の項目

④安定した給与体系・水準を求める取り組み

等々を全員一致で確認するとともに、上部団体加盟や予算等について確認した。

最後に、堀抜執行委員長以下組合役員を選出し、結成総会を無事に終えた。

10月8日には、新役員を中心に組合結成通知を会社を行うとともに、確認し合った要求書について手交した。



11月の主な動き

イベントカレンダー

■民主党・連合北海道意見交換会

3日（土）15:30／グランドホテル

■第4回就活セミナー

4日（日）13:00／自治労会館

■労働福祉対策特別委員会

14日（水）15:00／京王プラザホテル

■改正労働関係法学習会

14日（水）18:00／自治労会館

■第14回中央執行委員会

15日（木）13:30／連合会館

■地域医療・介護問題対策委員会

16日（金）13:30／アスティ45

■日高地協総会

17日（土）11:00／新ひだか町

■空知地協総会

17日（土）13:00／岩見沢市

■留萌地協総会

17日（土）13:00／留萌市

■渡島地協総会

18日（日）13:00／函館市

■第2回執行委員会

28日（水）10:30／連合北海道会議室

■第1回地協事務局長会議

28日（水）13:30／連合北海道会議室

■石狩地協総会

29日（木）14:00／ポールスター

■胆振地協総会

30日（金）15:00／登別市